

10. 国際貿易投資研究会

イ. 調査の目的

TPP（環太平洋経済連携協定）や日中韓 FTA、あるいは RCEP（東アジア地域包括的経済連携協定）などの FTA 交渉が活発化している。また、TTIP（環大西洋貿易投資連携協定）や日 EUEPA などの日米欧間のメガ FTA も動いている。こうした FTA などの日本を取り巻く国際貿易・投資の最新動向に関して調査研究を行うため、「国際貿易投資研究会」を開催している。

ロ. 調査結果の概要

ITI 国際貿易投資研究会のメンバーは約 50 名。研究会は年 6～7 回実施している。2014 年度の研究会の実施内容は以下の通り。

- ・ 第 1 回 2014 年 4 月 21 日(月)
パナソニック（株） 渉外本部 国際渉外グループ 参事 上之山陽子様
「FTA 活用時の問題点について」
- ・ 第 2 回 2014 年 6 月 16 日(月)
長部重康 法政大学名誉教授：EU の対外通商政策と FTA 戦略
田中友義 国際貿易投資研究所(ITI)客員研究員：日 EU 関係と日 EU 経済連携協定
新井俊三 国際貿易投資研究所(ITI)客員研究員：日 EU 経済連携協定の争点
- ・ 第 3 回 2014 年 7 月 28 日(月)
馬田啓一 ITI 研究会座長：「TPP とアジア太平洋の新通商秩序」
江原規由 ITI 研究主幹：「中国と TPP」
- ・ 第 4 回 2014 年 10 月 6 日(月)
ジェトロ国際経済研究課 椎野課長
ジェトロ国際経済研究課 米山課長代理
「2014 年ジェトロ世界貿易投資報告の概要とアジアの通商関係」
- ・ 第 5 回 2014 年 12 月 15 日(月)
財務省関税局調査課課長補佐 香川里子様
「主要国の原産地証明制度の現状と FTA 活用の実態」
- ・ 第 6 回 2015 年 2 月 16 日(月)
東京大学名誉教授、元 WTO 上級委員、ITI 前理事長 松下満雄様

「資源輸出規制と WTO 秩序」

これまでに ITI 国際貿易投資研究会やメンバーの成果を基に発行、あるいは刊行を予定している出版物は、以下の通り。

- ・山澤逸平、馬田啓一、国際貿易投資研究会編著、『通商政策の潮流と日本—FTA 戦略と TPP』、勁草書房、2012 年 4 月
- ・馬田啓一、浦田秀次郎、木村福成編著、『日本の TPP 戦略—課題と展望』、文眞堂、2012 年 5 月
- ・石川幸一、馬田啓一、木村福成、渡邊頼純編著、『TPP と日本の決断』、文眞堂、2013 年 2 月
- ・山澤逸平、馬田啓一、国際貿易投資研究会編著、『アジア太平洋の新通商秩序—TPP と東アジアの経済連携』、勁草書房、2013 年 10 月
- ・石川幸一、清水一史、助川成也編著、『ASEAN 経済共同体と日本—巨大統合市場の誕生』、文眞堂、2013 年 12 月
- ・石川幸一・馬田啓一・渡邊頼純編著、『TPP 交渉の論点と日本—国益を巡る攻防』、文眞堂、2014 年 6 月
- ・石川幸一、馬田啓一、国際貿易投資研究会編著、『FTA 戦略の潮流：課題と展望』、勁草書房、2015 年 3 月
- ・石川幸一、馬田啓一、高橋俊樹編著、『メガ FTA 時代の新通商戦略』、文眞堂、2015 年 6 月刊行予定
- ・石川幸一・馬田啓一・朽木昭文編著『アジアの開発と地域統合：新しい国際協力を求めて』、日本評論社、2015 年 9 月刊行予定